

令和2年度中学校国語科授業づくり研修会 (一人一台端末を使用した授業づくり)



学習指導要領上の位置付け

新学習指導要領では、小学校・中学校・高等学校を通じて、国語科におけるICT活用について以下のように規定している。なお、ICT活用はあくまで手段であり、活用に当たっては、育成を目指す資質・能力との関連を明確にすることが重要である。

- (小学校の例) ※中・高の規定も小と同様
- 第3 指導計画の作成と内容の取扱い
- 2 第2の内容の取扱いについては、次のとおり取り扱うこと。
- (2) 第2の内容の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高めるよう工夫すること。

参照：小学校学習指導要領(平成29年告示)第2章 第1節 国語

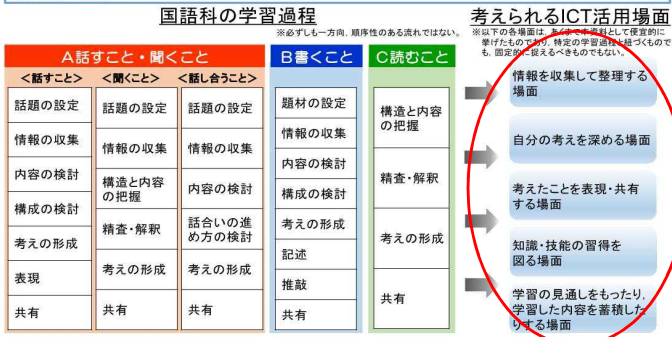
(参考) 上記規定に関する学習指導要領解説の説明
「コンピュータや情報通信ネットワークの活用について示している。情報化社会の進展を見据え、国語科の学習においても、情報収集や情報発信の手段として、インターネットや電子辞書等の活用、コンピュータによる発表資料の作成やプロジェクターによる提示など、コンピュータや情報通信ネットワークを活用する機会を設けることが重要である。」

※加えて、いくつかの指導事項や言語活動例では、学習指導要領やその解説でICT活用について明示的に示している。(参考：『教育の情報化に関する手引き(追補版)』(令和2年6月 文部科学省)巻末資料「学習指導要領における教育の情報化に関する主な記述」)

文部科学省「国語科の指導におけるICTの活用について」より

国語科における「学習過程」とICTの活用場面

新学習指導要領では、国語科の指導の改善・充実を図る観点から、[思考力、判断力、表現力等]の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けた。ICTの効果的な活用についても、この学習過程を踏まえて、活用場面を考えることができる。



文部科学省「国語科の指導におけるICTの活用について」より

場面に応じた国語科におけるICT活用のイメージ(例)

- 情報を収集して整理する場面 → インターネットなどから情報を収集
- 自分の考えを深める場面 → 画面上で考えを共有
- 考えたことを表現・共有する場面 → スピーチ・話し合いの録画・再生など
- 知識・技能の習得を図る場面 → 古文や漢文の学習に利用
- 学習の見通しをもったり、学習の内容を蓄積したりする場面 → 模範動画などを見て学習の見通しをもつ

文部科学省「国語科の指導におけるICTの活用について」より 4

学校におけるICTを活用した学習場面

A 一斉学習	B 個別学習	C 協働学習
<p>講義や実習等を拡大・縮小、画面への書き込み等を利用して、わかりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p> <p>A1 教員による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った速度で学習することが可能となる。また、一人一人の学習進度を把握することにより、意々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p> <p>B1 個に応じる学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p> <p>B2 調査活動</p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p>タブレットや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p> <p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p> <p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを整理して整理</p>
<p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p> <p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分業、協働による作品の制作</p> <p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>

「教育の情報化に関する手引き」より

5

A 一斉授業

A1 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用



【使用機器】

- ①教師用PC又はDVDプレイヤー
- ②電子黒板又はプロジェクター
- ③場合によって、学習者用タブレットなど

6

A 一斉授業

A1 教員による教材の提示



【教科等の指導における具体例】

中学3年

「おくのほそ道」

テキストの音読に活用

資料として活用

教材として活用



【使用機器】

- ①教師用PC又はDVDプレイヤー
- ②電子黒板又はプロジェクター
- ③場合によって、学習者用タブレットなど

7



授業アイデアA

テキストの音読に活用

古人も多く旅に死せるあり。

者は、日々旅にして旅をすみかとなす。

浮かべ、馬の口とらへて老いを迎ふる

年もまた旅人なり。船の上に生涯を

月日は百代の過客にして、行くかふ

おくのほそ道



8

授業アイデアA
資料として活用

1689(元禄2年)
8月到着
(現在の暦10月)

平泉

1689(元禄2年)
3月出発
(現在の暦5月)

作者
松尾芭蕉
江戸時代前期の俳諧師
伊賀上野出身

おくのほそ道 (俳諧)紀行文

授業アイデアA
教材として活用

永遠に旅を続ける旅人
過ぎ去っては、
やって来る年

月日は百代の過客にして、行きかふ
はくたいくわかく

年もまた旅人なり。船の上に生涯を
浮かべ、馬の口もとへて老いを迎ふる
え

者は、日々旅にして旅をすみかとなす。
古人も多く旅に死せるあり。

10

B 個別学習

B1 個に応じる学習

一人一人の習熟の程度等に応じた学習

【使用機器】
①教師用PC
②学習者用タブレット
など

11

授業アイデアB 目的に応じて相手に分かりやすく伝える

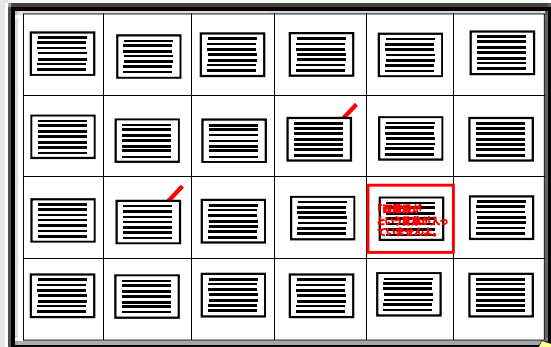
「 」までの一番近い行き方を説明しよう

【校舎平面図の一部】

3階											
コンピューター室	生徒会室	1-1	1-2	相談室	準備室	理科室	トイレ	準備室	音楽室	★	音楽室
2階											
図書室	放送室	会議室	事務室	校長室	職員室	印刷室	予備室	保健室	トイレ	準備室	調理室
1階											
★	美術室	資料室	3-1	3-2	予備室	2-1	2-2	トイレ	準備室	接納室	

12

生徒の学習の進捗状況が把握でき、個別に支援ができる

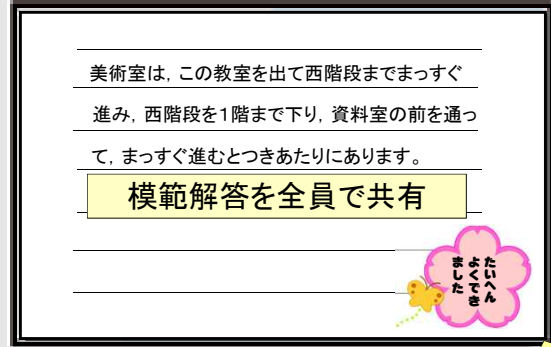


「西階段」という言葉が入っていませんよ。



教師のタブレット

生徒の学習の進捗状況が把握でき、個別に支援ができる



教師のタブレット

B 個別学習

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作



- 【使用機器】
- ①教師用PC
 - ②電子黒板又はプロジェクター
 - ③学習者用タブレット など

B 個別学習

B1 個に応じる学習 B4 表現・制作



【教科等の指導における具体例】

朗読やスピーチの技能の習得や向上
活動の様子を記録・再生して自己評価をしながら練習を行う



- 【使用機器】
- ①教師用PC
 - ②学習者用タブレット など

授業アイデアC

好きな場所 好きな季節 好きな給食

スピーチ等で活用

お気に入りの〇〇を紹介しよう

スピーチメモの作成 → スピーチ練習 (個人で練習) → 発表 (撮影) → 保存

スピーチメモ

- きっかけ
- 具体的な体験
- 特に伝えたいこと

タブレット

ポータフェリオとして活用 (学びの蓄積)

17

授業アイデアD

「私のお気に入りの場所」の紹介シートをつくろう

インターネットでお気に入りの場所を探す

文章作成ソフト等で制作し、成果物を共有・保存

キーボードで入力

写真を取り込む

タブレット

「港の見える校公園」の紹介シート

18

C 協働学習

C1 発表や話し合い **C3 協働制作**

グループや学級全体での発表・話し合い

【使用機器】

- ①教師用PC
- ②電子黒板又はプロジェクター
- ③学習者用タブレット など

19

授業アイデアE

ニュースキャスターになってニュースを伝えよう

記事を選ぶ(協働)

読み原稿の制作(個人)

読み原稿の制作(協働)

発表の練習

発表会

班で1つの原稿にまとめていく

評価シートの書き込みと提出

20

授業アイデアD 相互評価用紙(例)

相互評価
提出フォルダへ

ニュースキャスターにアドバイスをしよう				
() から () さんへ				
話の内容	構成・順序	A	B	C
	言葉や表現の工夫	A	B	C
話し方	声の大きさ	A	B	C
	話す速さ	A	B	C
	表情・身振り	A	B	C
感想・アドバイスなど				

21

授業アイデアE ニュースキャスターになってニュースを伝えよう

ICTを効果的に使う(紙に書かせる場面も大切に!)

記事を選ぶ(協働)

読み原稿の制作(個人)

読み原稿の制作(協働)

発表の練習(協働)

発表会

評価シートの書き込みと提出

22

各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料

文部科学省

各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料

各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料を作成しました。学校での実践事例に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の観点から授業改善を促すに当たって、参考となりますので、経験や日々の授業の改善などに御活用ください。なお、本資料は令和2年5月時点のものであり、今後、随時更新をしていく予定です。

- 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料
- 国語科の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料
- 社会科・地理歴史科・公民科の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料
- 算数・数学科の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料
- 理科の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料
- 小学校音楽科の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料
- 中学校音楽科・高等学校音楽科の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料
- 小学校図画工作科の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料
- 中学校美術科・高等学校美術科(美術・工芸)の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料
- 高等学校美術科(書道)の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00915.html

23

まとめ

- ・子供の学びにとって効果的なICTの活用
- ・授業者によるICTの長所と短所の把握

24